

第 28 回 小丸杯少年柔道大会



と き 令和7年9月7日(日)

午 前 9 時 開 会

と ころ 福山市総合体育館 武道場

福山市千代田町1丁目1番2号 TEL981-3050

主 催 備 後 地 区 柔 道 連 盟

協 賛 公益財団法人 渋谷育英会

公益財団法人 小丸交通財団

後 援 福 山 市 教 育 委 員 会

中 国 新 聞 備 後 本 社

備後地区柔道連盟各支部

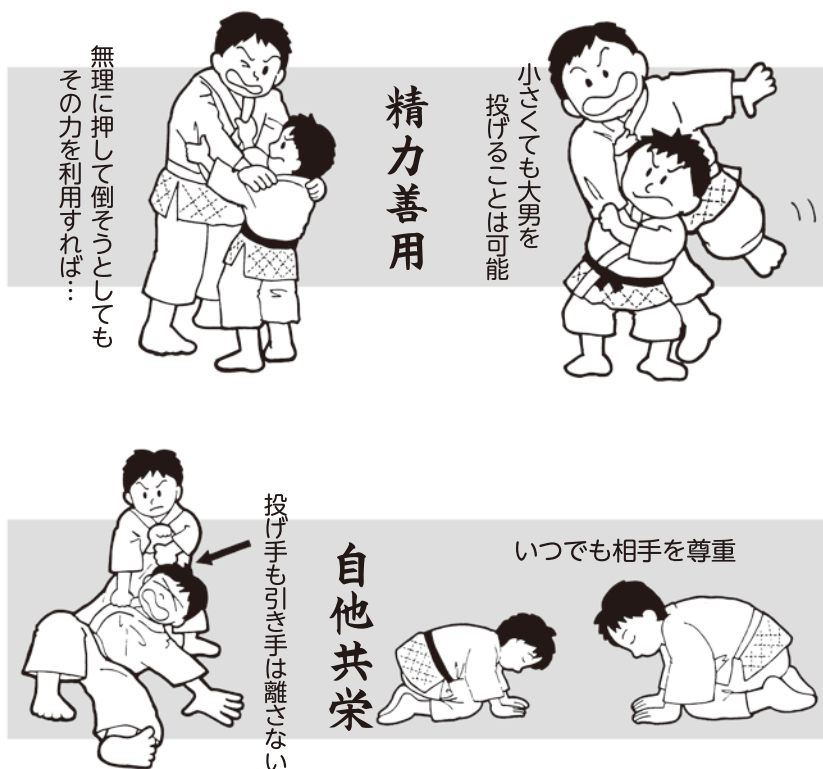
精 力 善 用 自 他 共 栄

誓 詞

一、我々は礼儀正しくします

一、我々は不撓不屈の精神を涵養します

一、我々は柔道精神を体得し社会に有益な人間となります



ごあいさつ

大会名誉会長
備後地区柔道連盟

名誉会長 小 丸 成 洋

初秋の候、皆様におかれましては、ますますのご清祥のこととお喜び申しあげます。

本年も、第28回小丸杯少年柔道大会が盛大に開催されますことに心より感謝申し上げます。

本大会は、福山市を中心とした備後地区より、小中学校の児童生徒が多数参加し、日頃鍛えた技術、体力、精神力をお互いに競い、柔道を通じて学校、地域を超えた交流を深め、新たな友情を築いてもらうことを目的としております。

さて、本年6月にはハンガリーにおいて世界柔道選手権大会が開催され、さまざまな競技種目において、数多くの熱戦が繰り広げられました。日本は男女ともに好成績を残し、素晴らしい大会となり、改めて柔道に対する情熱が強く感じられ、国際的なスポーツとして愛されていることを再認識することができました。

皆さんは柔道を通じて、一生懸命に打ち込んでいる日々の稽古によって、相手を尊重して敬意を払う「礼の精神」を養っております。本日も相手を思いやる礼儀正しい大会になるように、参加選手の皆さんには正々堂々と悔いのない試合を行ってください。この大会での貴重な経験が、今後の皆さんの成長の糧となり、今後の大きな飛躍に繋がっていくものと期待しております。

終わりにになりましたが、本大会の開催及び運営にご尽力をいただいております全ての関係者の方々に対し、厚く御礼申し上げますとともに、今後とも変わらぬご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

祝 辞

福山市長 枝 広 直 幹

「第28回小丸杯少年柔道大会」が開催されますことを、心からお喜び申し上げます。また、ばらのまち福山へお越しくださいました多くの選手・関係者の皆様を心から歓迎いたします。

柔道は、相手と向き合いながら、自分自身と向き合う武道です。自分を律する心、他人を思いやる心、そして自分の成長を信じて進む力が育まれていきます。

皆様を日頃から支え応援してくれる方々への感謝の気持ちを忘れず、礼儀や他人を思いやる気持ちを学び、今後も練習に励んでください。また、日頃の厳しい修練を通して培われた強い精神力と磨かれた技を十分に発揮され、悔いのない試合が展開されることを期待しております。

終わりに、大会の開催に当たり御尽力されました関係者の皆様に心から敬意を表し、また本大会の御成功と備後地区柔道連盟のますますの御発展を祈念し、お祝いの言葉といたします。

祝 辞

福山市教育委員会教育長

小 林 巧 平

第28回小丸杯少年柔道大会が、盛大に開催されますことを心からお喜び申し上げます。

備後地区柔道連盟の皆様におかれましては、柔道の普及並びに発展を通して、日頃からこどもたちの体力向上と健全育成に御尽力いただいておりますことに、深く感謝を申し上げます。

日本の伝統武道である柔道は、身体を鍛錬して強健にし、精神の修養に努めて人格の高揚を図るものであり、青少年期に武道に親しむことは、技を習得するだけではなく、礼節を備えた心豊かな人に育つためにとても大切なことだと考えます。

選手の皆様には、日々の鍛錬の成果を存分に発揮されとともに、多くの仲間との親睦を深め、心に残る充実した大会となることを期待しております。

教育委員会は、すべてのこどもたちが、自分自身の成長を実感できる学校教育の実現をめざし、確かな学力とともに、ローズマインド（思いやり 優しさ 助け合いの心）溢れる豊かな人間性を育むため、家庭や地域と連携しながら、様々な取組を進めています。

こどもたち一人ひとりが自分の能力や可能性を伸ばしていけるよう、本日お集まりの皆様にも、本市の取組への一層の御助力をお願い申し上げます。

終わりに、本大会の開催にあたり御尽力されました関係者の皆様に敬意を表しますとともに、大会の御成功と柔道の振興、そして皆様の御健勝を祈念して、お祝いの言葉といたします。

祝 辞

福山東警察署長

木 本 英 則

第28回小丸杯少年柔道大会が盛大に開催されますことを、心よりお喜び申し上げます。

本大会は、柔道を通じて礼儀礼節を重んじ、健全な身体と精神を養成することを目的として開催されている歴史と伝統ある大会であり、次代を担う青少年の育成のため意義深いものとなっていると考えております。

参加される選手皆様には、本大会において、日頃の稽古の成果を存分に発揮され正々堂々悔いの残らない試合をして頂くとともに、勝敗のみにとらわれることなく、多くの仲間と交流を深め、良い思い出として残るすばらしい大会となりますことを願っております。

柔道は、心身の調和と礼節を重んじる日本伝統の武道であり、日々の鍛練を通じて、身体を鍛えるとともに、豊かな心を育むことができるものと考えております。

警察といたしましても、関係機関・団体をはじめ地域の皆様と連携し、未来を担う子どもたちが安全で健全に成長できるよう尽力して参りますので、引き続き、子どもたちの健全育成へのご理解と、あたたかいご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

結びに、本大会の開催にあたりましてご尽力された関係各位の皆様方に深く敬意を表しますとともに、本大会の成功と備後地区柔道連盟の益々のご発展、ご参会の皆様方のご健勝、ご多幸を祈念しまして、お祝いの言葉といたします。

大 会 次 第

I 開会式

1. 選 手 整 列

2. 開 会 宣 言

3. 国 歌 斉 唱

4. 優勝旗返還 小学生団体戦 美心塾柔道教室A

中学生男子団体の部 松井道場A

中学生女子団体の部 柔楽会

5. 大会名誉会長挨拶

6. 来 賓

〈順不同〉

・公益財団法人 渋谷育英会常務理事 村田 基行

・福山市長 枝広 直幹

・福山通運㈱専務執行役員 江藤 洋

・福山市教育委員会教育長 小林 巧平

・福山東警察署署長 木本 英則

・福山市スポーツ協会会長 菅田 博文

・福山東地区防犯組合連合会会長 高田 健司

・天野スポーツ振興財団理事長 前田 哲男

・福山市議会議員 大田 佑介

・中国新聞備後本社代表 武河 隆司

・備後地区柔道連盟顧問 岡本 英明

・公立大学法人福山市立大学学長 佐藤 利行

・備後地区柔道連盟各役員各支部長

・広島県柔道連盟副会長 橋本 武志

7. 審判長競技上の注意

8. 選 手 宣 誓

福山市立城北中学校（福柔会）新川優斗

9. 諸注意及び諸連絡

10. 写 真 撮 影

11. 形の演武 講道館投げの形 取：新川大輔 受：川崎由梨

12. 広島県警柔道強化指定選手による技術指導

II 試 合

・団体戦 小学生の部

・個人戦 幼年の部

中学生男子の部

小学 1・2年生の部

中学生女子の部

小学 3・4年生の部

小学 5・6年生の部

中学男子の部

中学女子の部

III 閉 会 式

1. 選 手 整 列

2. 成績発表並びに表彰

3. 閉 会 宣 言

4. 解 散

大会役員

大会名誉会長	備後地区柔道連盟 名誉会長	小丸成洋
大会会長	備後地区柔道連盟 会長	岡崎正廣
大会副会長	備後地区柔道連盟 副会長	松浦正
大会副会長	備後地区柔道連盟 副会長	藤原義明
大会副会長	備後地区柔道連盟 副会長	本瓦益久
大会副会長	備後地区柔道連盟 副会長	土屋宣英
大会副会長	備後地区柔道連盟 副会長	中村和裕
大会副会長	備後地区柔道連盟 理事	岡本廣一
大会副会長	備後地区柔道連盟 副理事	土肥哲也

〔競技役員〕

審判長 上田貴基

審判員

第一会場 東山善晴・毛頭 理・高森徳典・亀島重匡・工藤誠之・平岡健幸

第二会場 村上充紘・上田大基・安田圭佑・池田直樹・下江慎二・宮地 智

第三会場 瀧山高行・鈴木 健・峠元成夫・坂本裕樹・神尾満英

第四会場 和田輝昌・元木勇雅・沖廣栄治郎・福井英樹・橋倉 豊・沖野正和

総務 岡本廣一・宇田直子

受付 本瓦益久・土屋英宣・下江典子・新市道場保護者数名

表彰 尾形和也・藤井裕子

司会進行 藤原義明・土肥哲也

本部記録 土屋英宜

時計係 高校生

会場全体指揮 土肥哲也

第一会場 光法亮二・元木 康之 PC担当 岡田大和

第二会場 三宅舞佳・細間 勝人 PC担当 黒田理乃

第三会場 川本翔太・佐藤 康敬 PC担当 小林四葉

第四会場 光法威志 PC担当 川崎典男

救護係 湯浅光範・藤井祐子

整列係 藤原義明

大会要項

1 競技規則

国際柔道連盟試合審判規定及び国内における少年大会特別規定・本大会申し合わせ事項にて行う

2 競技方法

※試合方法 団体戦 個人戦ともに、トーナメント方式による試合時間

・団体戦

個人戦ともに、小学生2分 中学生3分とする

◎勝敗の判定基準は「一本」「技有」「有効」又は「僅差指導差2以上」とする

◎試合時間内に勝敗が決しない場合は、判定にて勝敗を決する

◎優劣の成り立ちは下記の通りとする

「一本」＝「反則勝ち」>「技有」>「有効」>僅差

団体戦 個人戦ともに、3位決定戦は行わない

・団体戦

①団体戦は「一本」「技有」「有効」又は「僅差 指導差2以上」とする

②チーム間における勝点の数による

③勝点が同等の場合、内容により決定する

④内容が同等の場合、代表戦により決定する

⑤代表戦は任意の選手とし、勝敗の判定基準は団体戦と同様とする

試合時間内に勝敗が決しない場合は、判定にて勝敗を決する

・個人戦

個人戦は「一本」「技有」「有効」又は「僅差 指導差2以上」とする

ポイントにより勝敗が決しない場合、その場合は上記の「試合時間内に勝敗が決しない場合は、判定にて勝敗を決する」。

3 参加制限

・団体戦

①小学生の部は道場対抗で行う大将から、高学年→低学年の順(同学年の場合は体重の重い者が大将側)で行う男女混合も可能とする

②中学生の部は男子、女子ともにチーム編成は体重の重い者を大将とし

③順次体重順に編成すること

④欠員補充を行う場合、体重の重い者を大将側とし体重順となるよう補充する

・個人戦

①小学生の部 1年～6年生により、学年別、体重別で行う

②中学生の部 1年～3年生により、男女別、体重別で行う

4 参加要件

(A)団体の部

【小学生の部】登録チーム数は制限なしとする 3名の団体戦とする

【中学生男子の部】登録チーム数は制限なしとする 3名の団体戦とする

【中学生女子の部】登録チーム数は制限なしとする 3名の団体戦とする

※団体戦で欠場者があり補充を行わない場合、後詰めにて試合を行う

(B)個人の部

小学生の部(体重別)

【幼年の部】

【小学1・2年生男女の部】 軽量級(20kg以下) 中量級(27kg以下) 重量級(27kg超)

【小学3・4年生男女の部】 軽量級(27kg以下) 中量級(35kg以下) 重量級(35kg超)

【小学5・6年生男女の部】 軽量級(35kg以下) 中量級(45kg以下) 重量級(45kg超)

中学生の部(体重別)

【中学男子の部】 軽量級(55kg以下) 中量級(70kg以下) 重量級(70kg超)

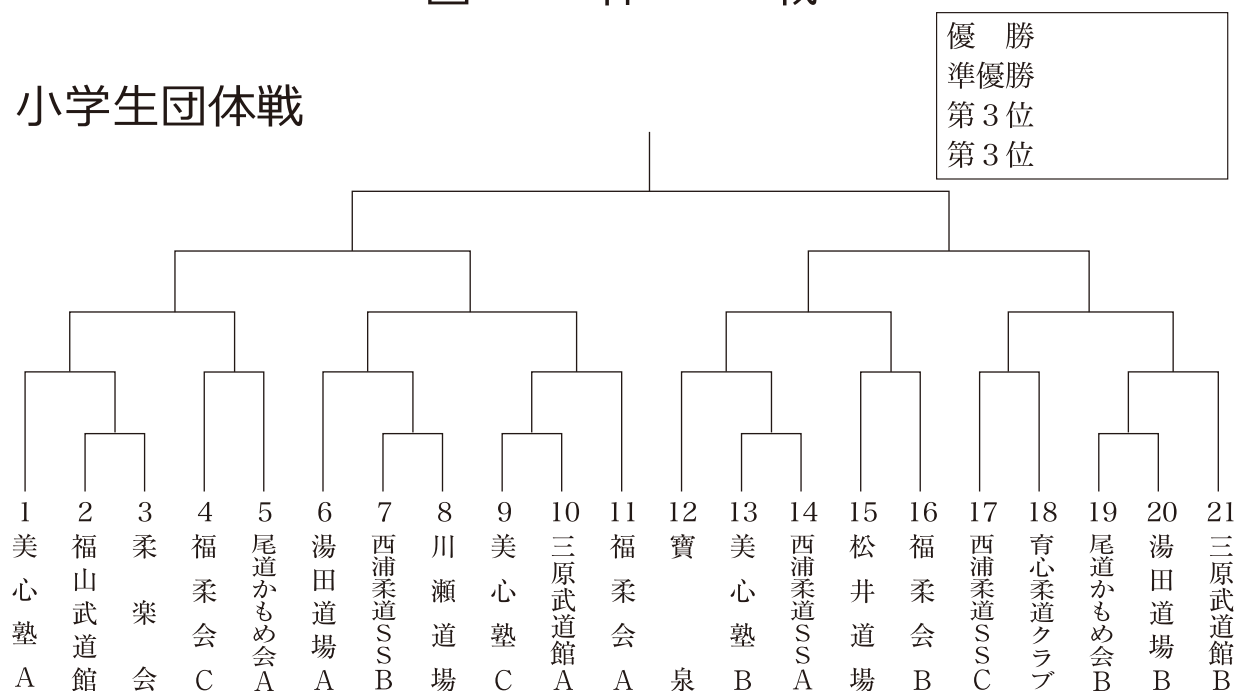
【中学女子の部】 軽量級(45kg以下) 中量級(57kg以下) 重量級(57kg超)

*個人戦は小学生、中学生とも体重別で行う。階級はそれぞれ上記の区分で行う

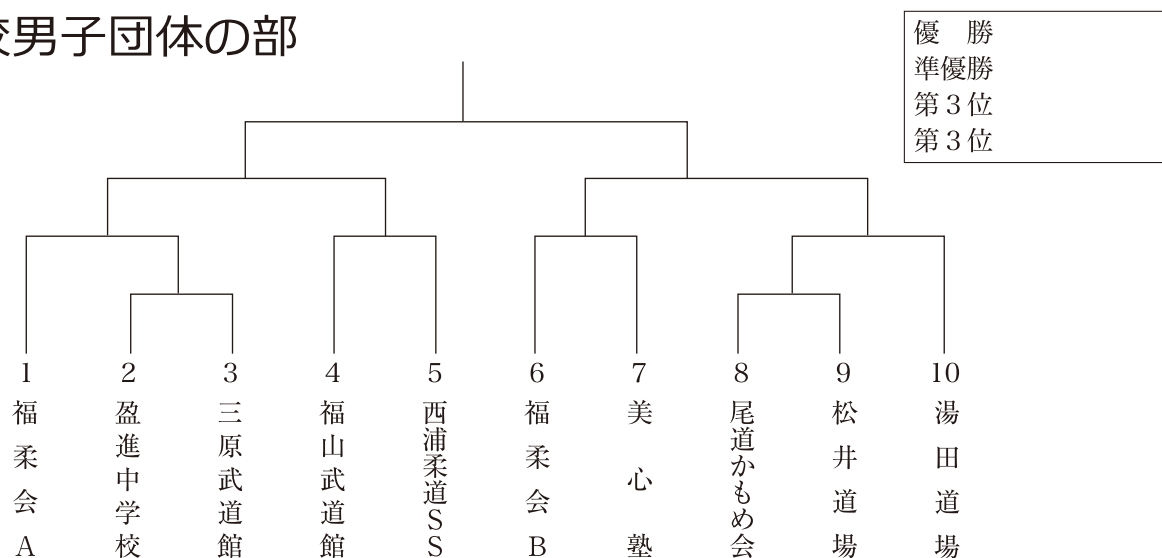
*本大会において計量は行いません。各団体において責任をもって体重確認をお願いします

団 体 戦

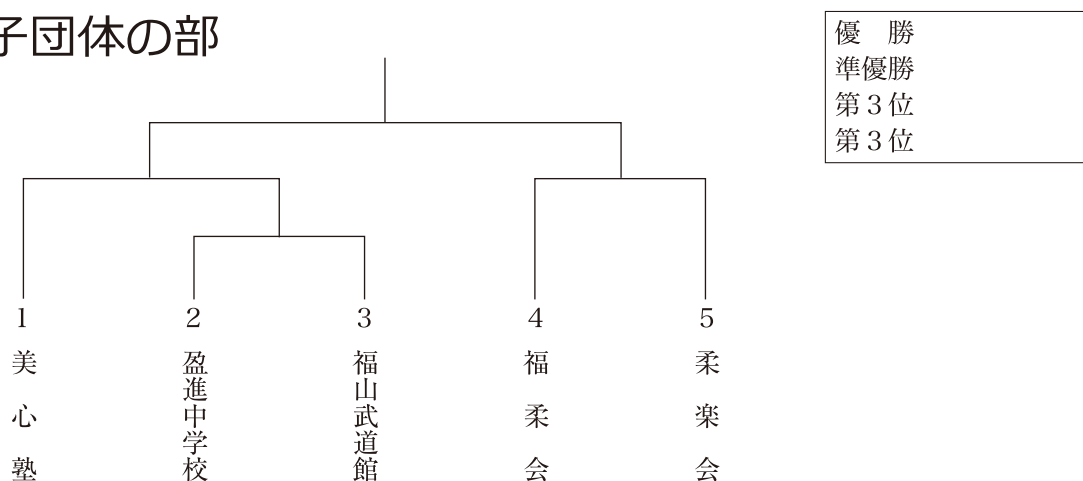
小学生団体戦



中学校男子団体の部

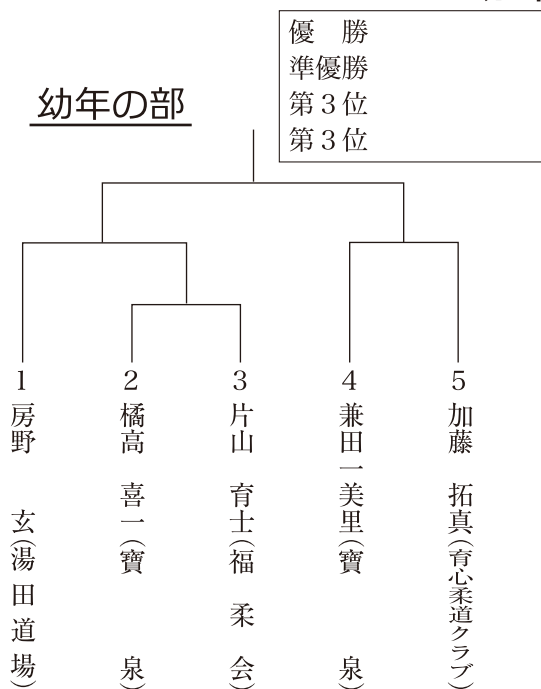


中学校女子団体の部

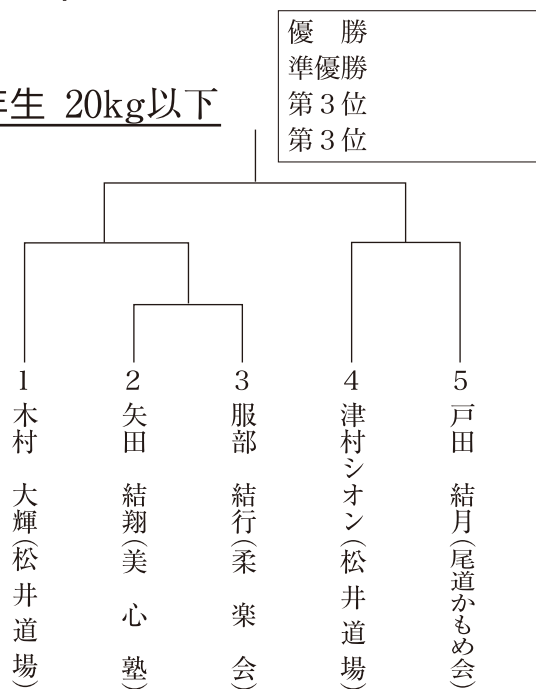


幼年・小学生の部

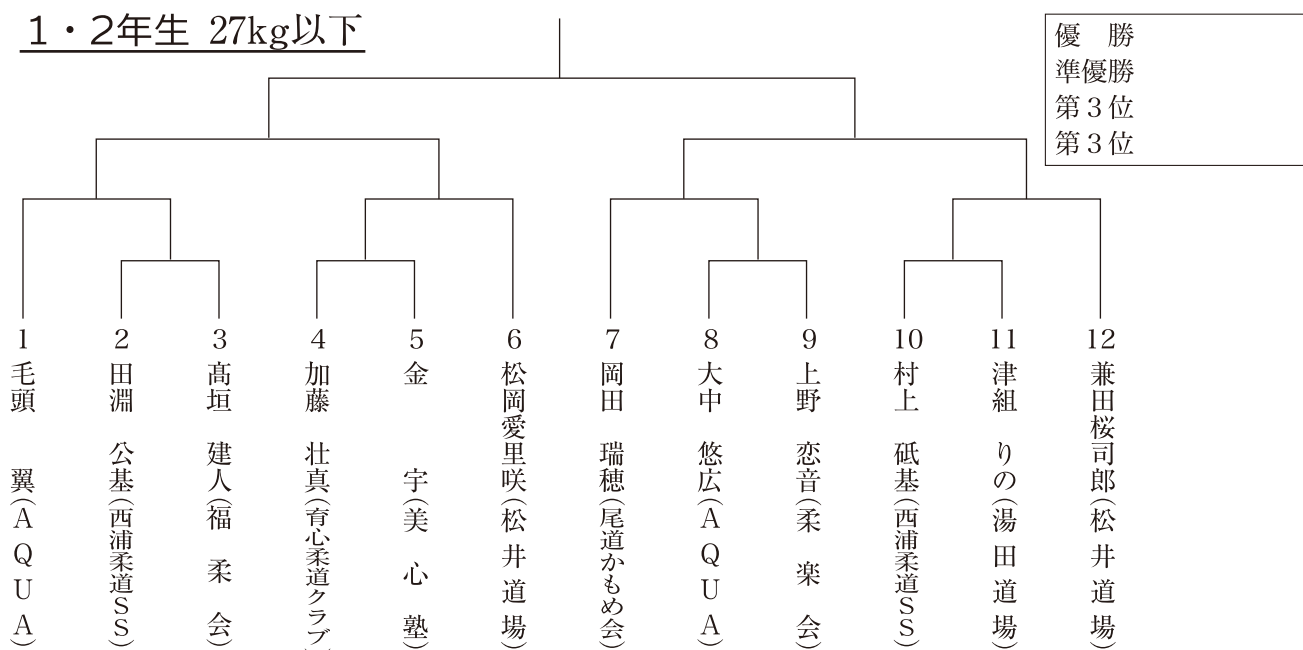
幼年の部



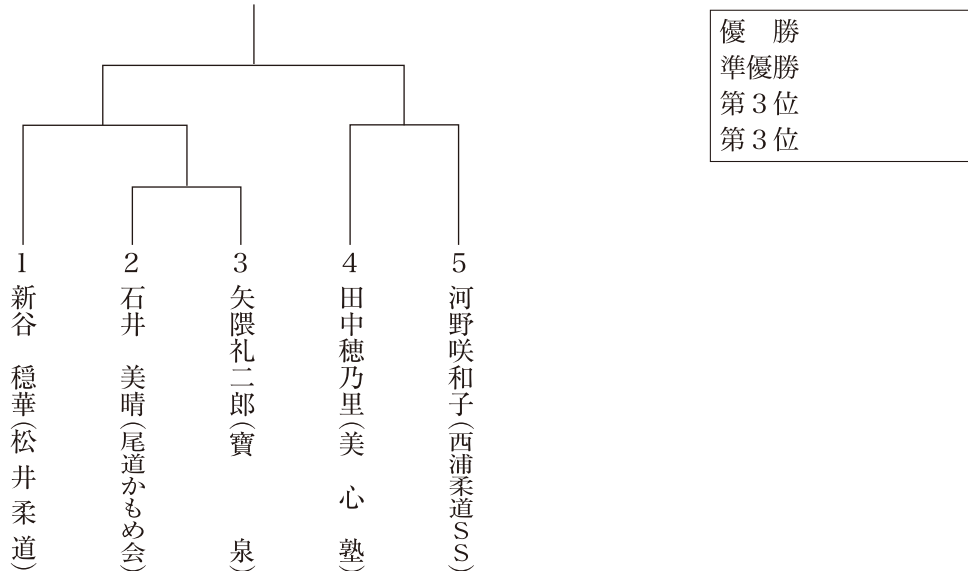
1・2年生 20kg以下



1・2年生 27kg以下



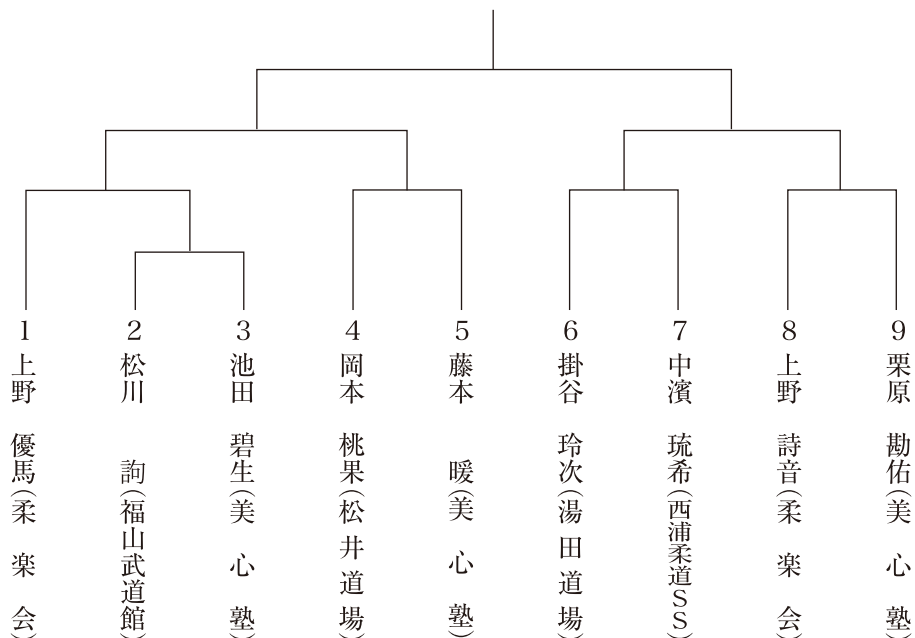
1・2年生 27kg超



小学生の部

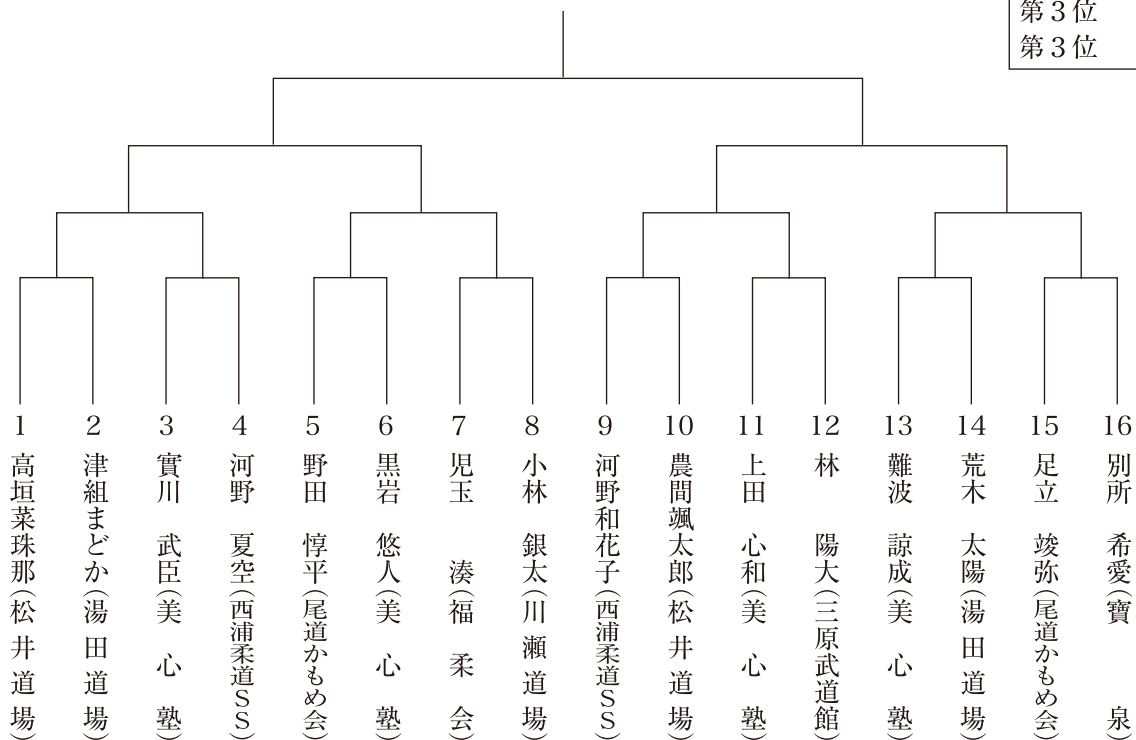
3・4年生 27kg以下

優勝
準優勝
第3位
第3位



3・4年生 35kg以下

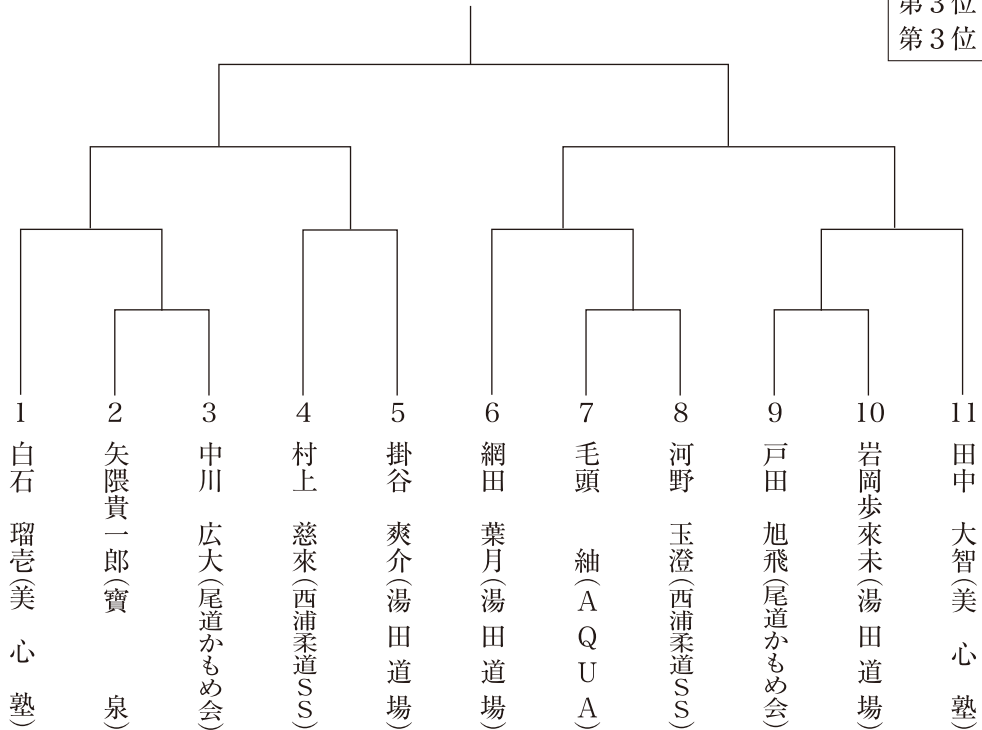
優勝
準優勝
第3位
第3位



小学生の部

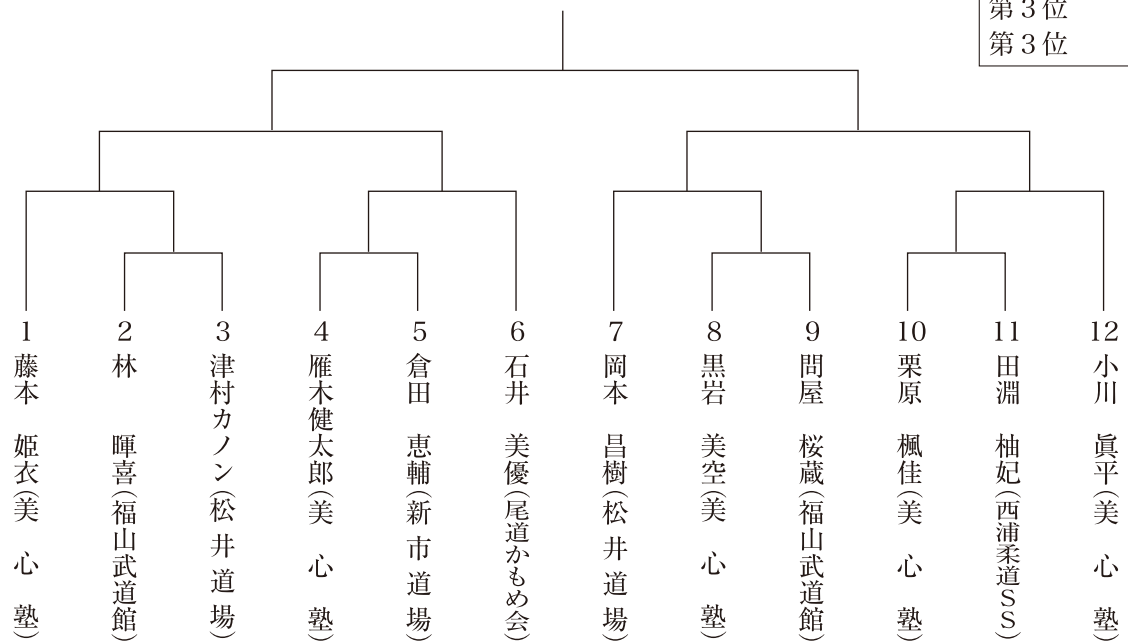
3・4年生 35kg超

優勝
準優勝
第3位
第3位



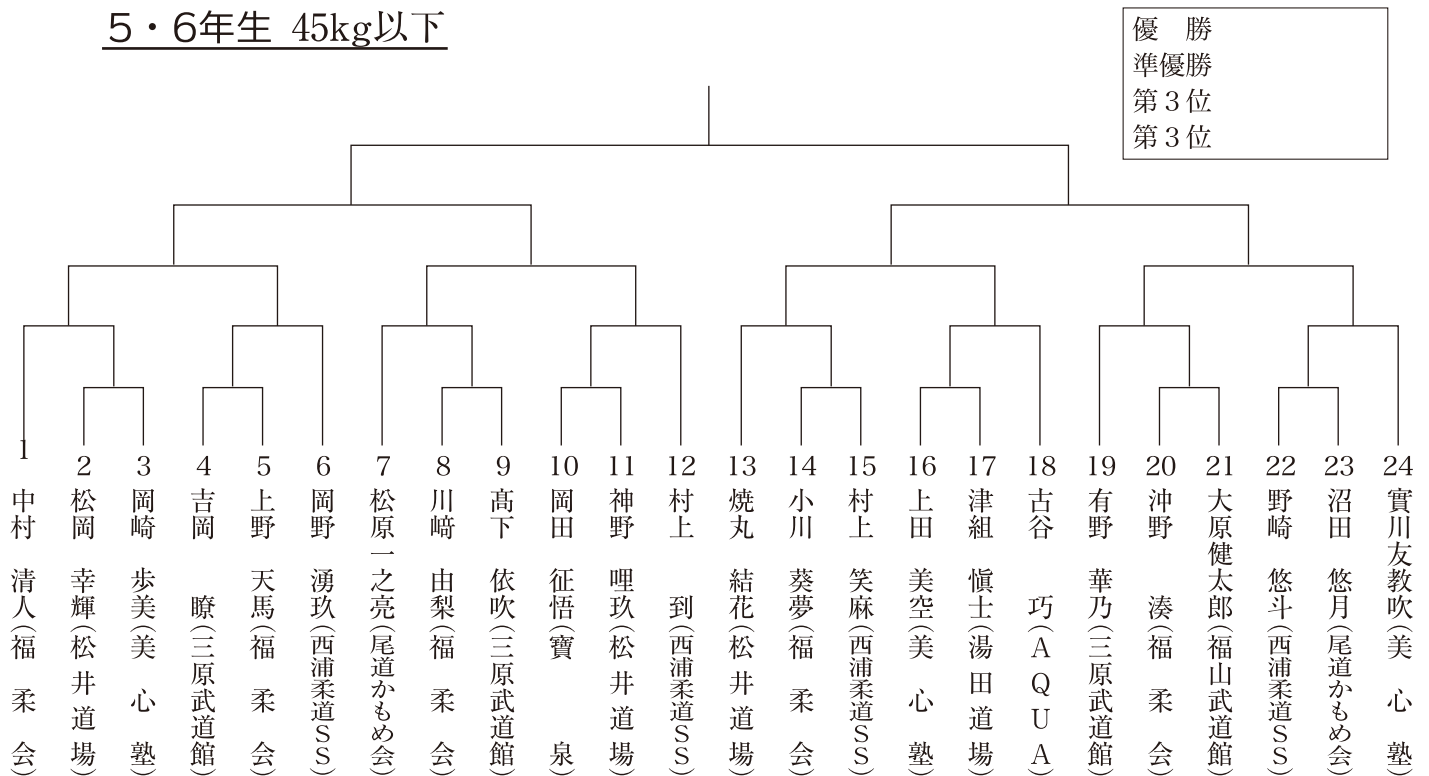
5・6年生 35kg以下

優勝
準優勝
第3位
第3位

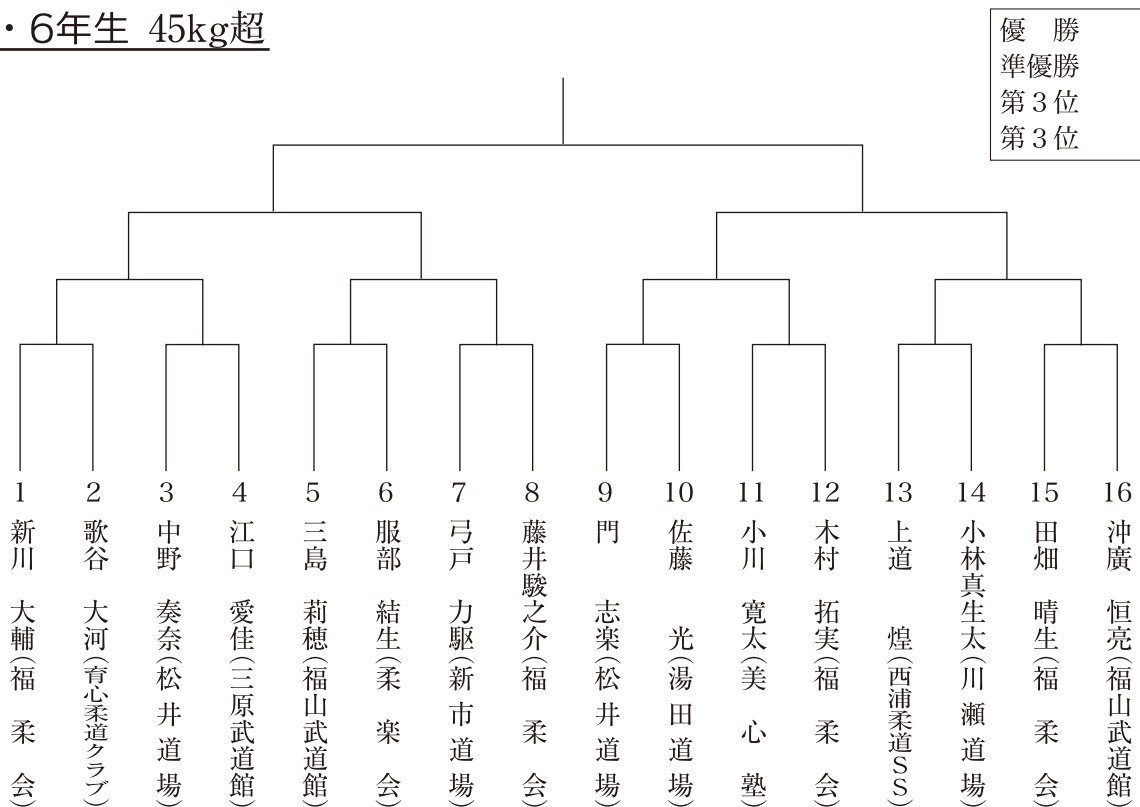


小学生の部

5・6年生 45kg以下

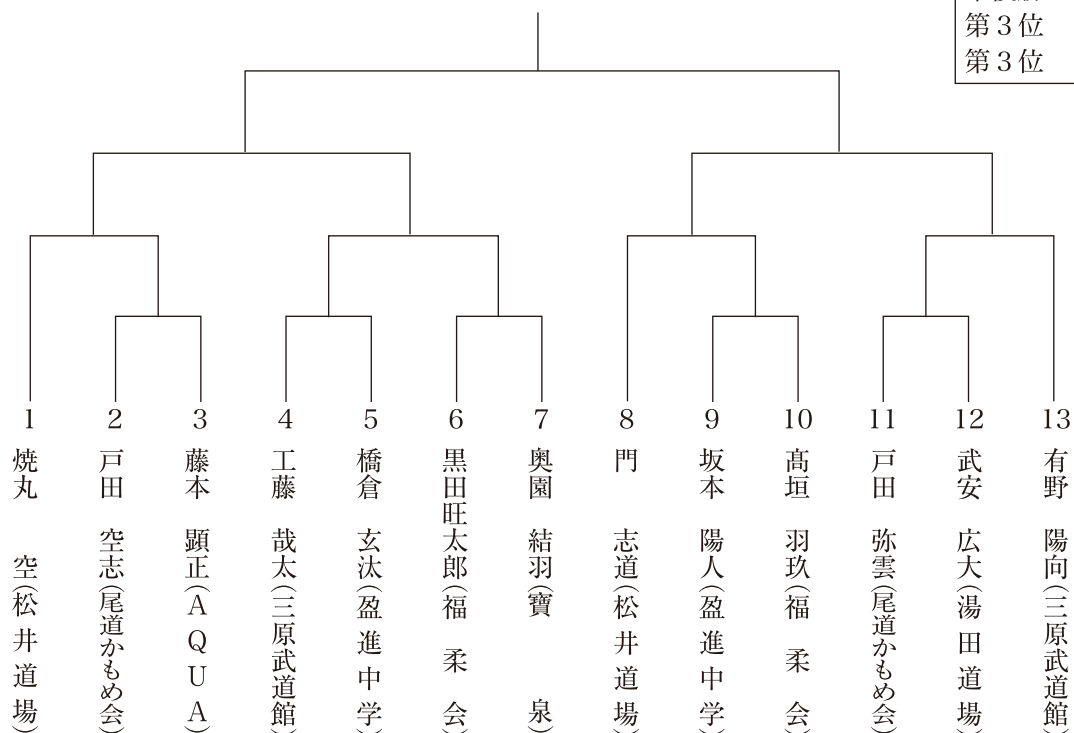


5・6年生 45kg超

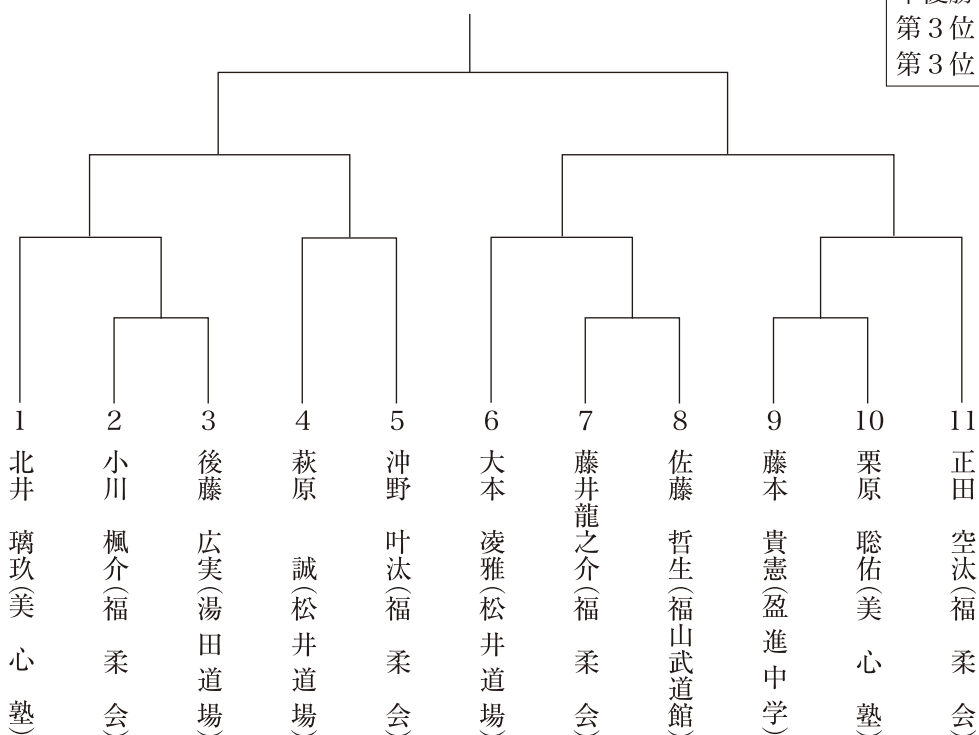


中学生男子の部

中学生男子 55Kg以下



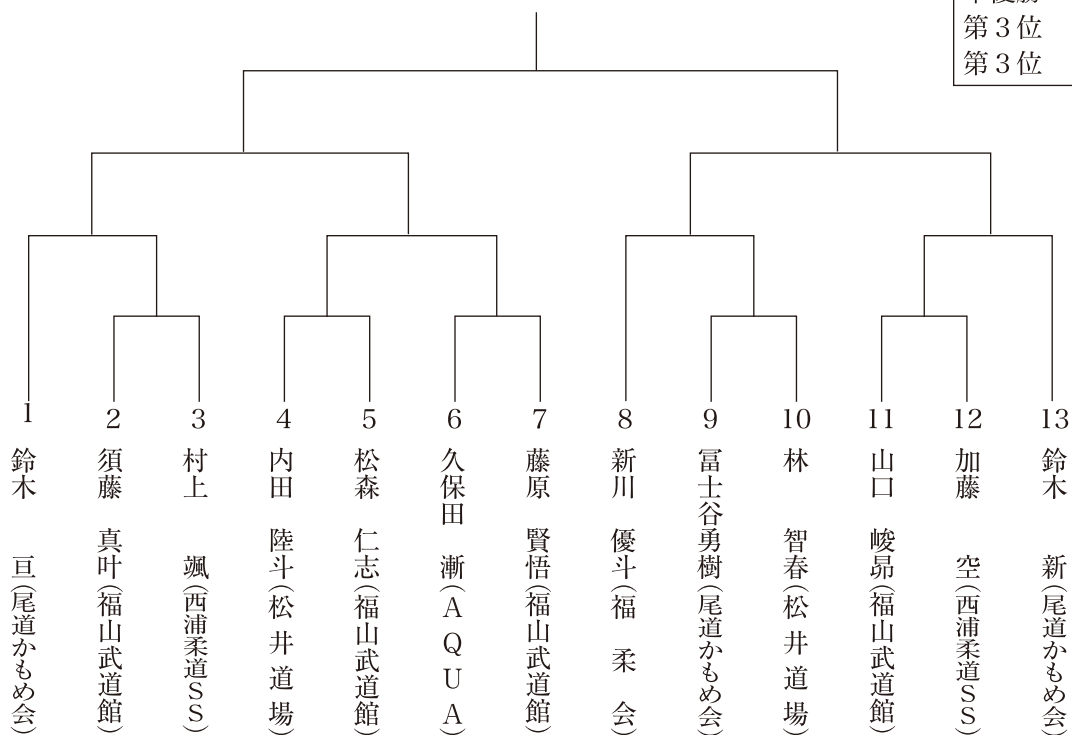
中学生男子 70Kg以下



中学生男子の部

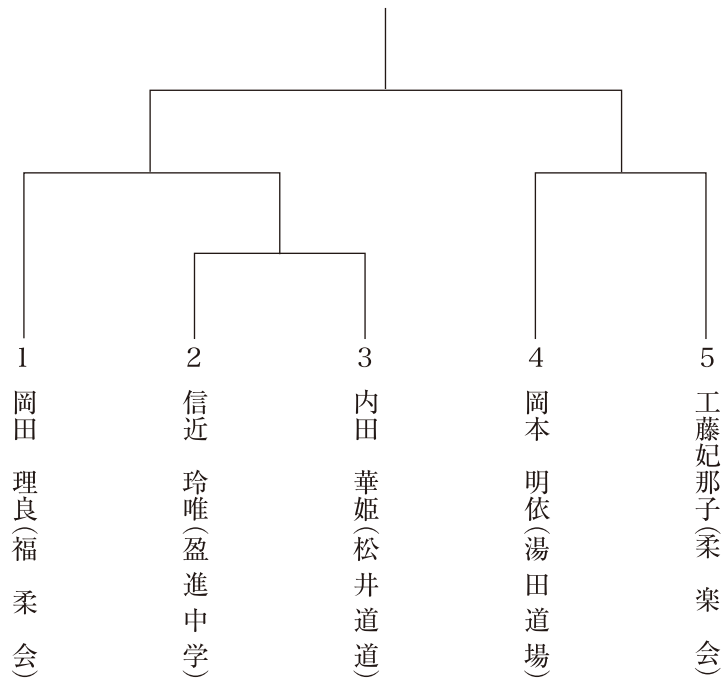
中学生男子 70Kg超

優勝
準優勝
第3位
第3位



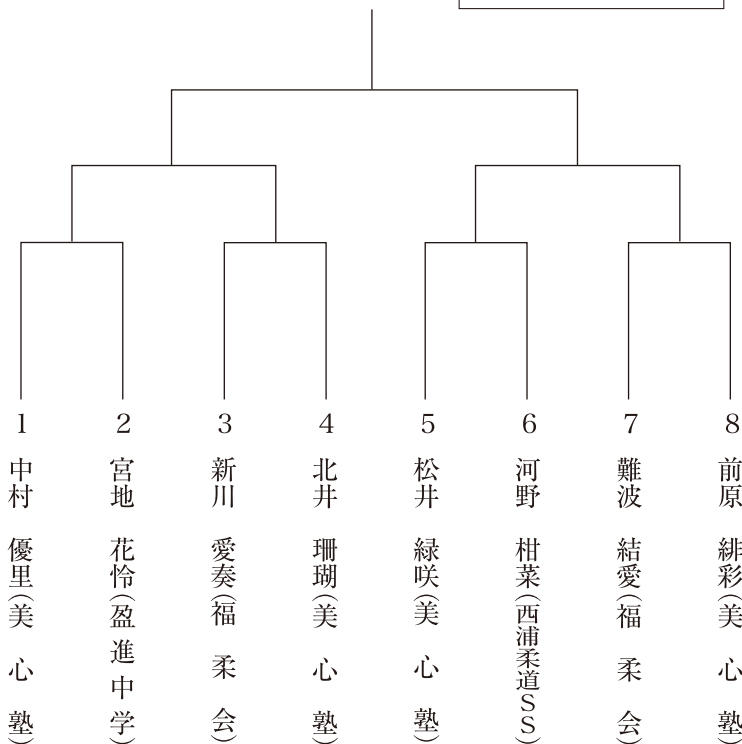
中学生女子の部

中学生女子 45kg以下



優 勝
準優勝
第 3 位
第 3 位

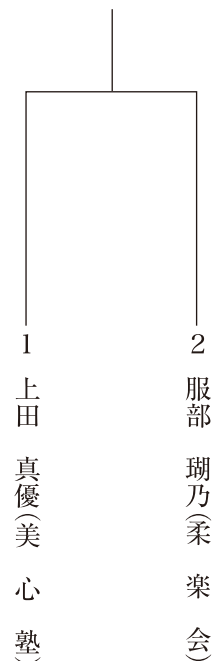
中学生女子 57kg以下



優 勝
準優勝
第 3 位
第 3 位

中学生女子 57kg超

優 勝
準優勝



団体戦チームメンバー表

●小学生の部

	チーム名	監督	先 鋒	中 堅	大 将	補 欠
1	福 山 武 道 館 A		大原健太郎	三島 梨穂	沖廣 亘亮	林 暉喜
2	松 井 道 場		松岡 幸輝	焼丸 結花	中野 奏奈	門 志楽
3	川 瀬 道 場			小林 銀太	小林真生太	
4	柔 楽 会		上野 詩音	服部 結生	上野 天馬	上野 優馬
5	寶 泉		矢隈礼二郎	矢隈貴一郎	岡田 征悟	別所 希愛
6	美 心 塾 A		岡崎 歩美	實川 友教	小川 寛太	
7	美 心 塾 B		小川 眞平	上田 未来	黒岩 美空	
8	美 心 塾 C		雁木健太郎	栗原 楓佳	藤本 姫衣	
9	三 原 武 道 館 A		林 陽大	吉岡 瞭	高下 依吹	
10	三 原 武 道 館 B			有野 華乃	江口 愛佳	
11	湯 田 道 場 A		津組 慎士	掛谷 爽介	佐藤 光	
12	湯 田 道 場 B		掛谷 玲次	網田 葉月	岩岡歩來未	荒木 太陽
13	福 柔 会 A		川崎 由梨	沖野 湊	田畑 晴生	
14	福 柔 会 B		中村 清人	新川 大輔	藤井駿乃介	
15	福 柔 会 C		児玉 湊	小川 葵夢	木村 拓実	
16	尾 道 か も め 会 A		中川 広大	石井 美優	松原一之亮	
17	尾 道 か も め 会 B		足立 竣弥	戸田 旭飛	沼田 悠月	
18	西浦柔道スポーツ少年団 A		河野 玉澄	野崎 悠斗	上道 煌	
19	西浦柔道スポーツ少年団 B		村上 慈來	村上 到	岡野 湧玖	
20	西浦柔道スポーツ少年団 C		河野 夏空	田淵 柚妃	村上 笑麻	
21	育 心 柔 道 ク ラ ブ			加藤 壮真	歌谷 大河	

●中学生男子の部

	チーム名	監督	先 鋒	中 堅	大 将	補 欠
1	福 山 武 道 館		佐藤 哲生	山口 峻昂	藤原 賢悟	
2	松 井 道 場		焼丸 空	門 志道	大本 凌雅	萩原 誠
3	美 心 塾			栗原 聡佑	北井 璃玖	
4	盈 進 中 学 校		橋倉 玄汰	坂本 陽人	藤本 貴憲	
5	三 原 武 道 館			工藤 哉太	有野 陽向	
6	湯 田 道 場			武安 広大	後藤 広実	
7	福 柔 会 A		小川 楓介	沖野 叶汰	新川 優斗	
8	福 柔 会 B		高垣 羽玖	藤井龍之介	正田 空汰	
9	尾 道 か も め 会		戸田 空志	鈴木 新	鈴木 亘	黒田旺太郎
10	西浦柔道スポーツ少年団			村上 颯	加藤 空	

●中学生女子の部

	チーム名	監督	先 鋒	中 堅	大 将	補 欠
1	柔 楽 会			工藤妃那子	服部 瑚乃	
2	盈 進 中 学 校		信 近 玲 唯	宮 地 花 怜		
3	福 山 武 道 館		林 紅 果	大 原 茉莉	前 原 緋 彩	
4	美 心 塾		中 村 優 里	前 原 緋 彩	上 田 真 優	松 井 緑 咲
5	福 柔 会		岡田理良里	新 川 愛 奏	難 波 結 愛	

2025 年 小丸杯柔道大会 試合結果



QR コードを読み取り備後地区柔道連盟ホームページへアクセス
2025 小丸杯柔道大会の試合結果を確認いただけます。